

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 2 号

令和 4 年 5 月 発行
宇都宮市立海道小学校
校長 伊藤 裕之

海道小学校の
ホームページへ ⇒
<http://www.ueis.ed.jp/school/kaido/>



本校学校業務内野先生の世話により、
校舎北駐車場脇に見事な花を咲かせた
ジャーマンアイリス（ドイツアヤメ）

風薫る 5 月

新緑の季節、校庭の木々の若葉もすっかりと生えそろう、緑が一層深くなりました。新入生 26 名を加えて 196 名でのスタートとなった令和 4 年度も、あっという間に 2 か月が過ぎようとしています。年度初めのいろいろな行事を経験しながら、1 年生もすっかり学校に慣れました。他学年の子ども達も、それぞれ進級した学年で、新しい友達や先生との出会いを経て、毎日元気にのびのびと学校生活を送っているところです。新型コロナウイルス感染症においては、まだまだ気を緩めることはできない状況です。感染防止対策を取りつつ、子どもたちが意欲をもって様々な活動に取り組めるよう、教職員一同努めてまいります。

地域と共にある学校づくり

海道小学校では、地域協議会の活動の一つとして、毎年数多くの学校支援ボランティアの皆様に、教育活動を支援していただいております。今年度に入りましてもコロナ禍が続いていますが、感染症対策方法を考えながら、年度当初より数多くの皆様にお世話になっております。現在、42 名の方に登録いただき、登下校の見守りや図書・掲示などの学習環境の整備、読み聞かせ、体験学習や実習などの活動支援をしてくださっています。学校支援ボランティアは、皆さん無報酬ですが、「子どもたちに元気をもらえるから」などと快くお手伝いくださり、海道小学校は本当に地域や保護者の皆様に支えていただいていると実感しております。ボランティアは随時募集中ですので、ご興味のある方は、ぜひ学校までご連絡ください。

田植え 5月10日(火)



読み聞かせ 5月10日(火)



見守り活動顔合わせ 5月13日(金)

日頃より子供たちの登下校を見守ってくださっているボランティアやスクールガード、警察関係の方にお越しいただいて、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

図書ボランティア 5月25日(水)



さつまいもの苗植え 5月30日(月)



家庭科・裁縫ボランティア 5月30日(月)



☆ 印刷費削減のため、白黒印刷しております。 <m(_)_m> 後日、この第2号も掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

なお、学校ホームページにおいて、カラーで紹介しております。



行ってきました！ 楽しみにしていた宿泊学習
5年 冒険活動教室 **6年 修学旅行**
 4月25(月)～26(火) 5月19(木)～18(金)
 冒険活動センター 日光・那須方面

今年度も新型コロナウイルス感染症への対策として、鎌倉・東京・横浜方面への修学旅行を県内に変更し、1泊2日の左記日程で、日光・那須方面に出かけ、



たくさんの思い出を作ってくることができました。

1日目は東照宮から東武日光駅までを班別で活動し、グループの友達と仲良く協力しながら事前に計画していたコースを見学したあと、日光江戸村で大いに楽しみ、那須のホテルでは友達との交流を深めました。

2日目は、今年3月に真二つに割れてしまった殺生石を見学した後、那須ハイランドパークで時間いっぱい思う存分楽しみました。子供たちは県民一家族一旅行キャンペーンでクーポンをいただき、多くのお土産を買うことができて、大満足の様でした。



5年生は上記の日程で冒険活動教室に行ってきました。子供たちは、自分なりの目標をもち、意欲的に活動に参加しました。1日目は「探検ゲーム」や「基地づくり」、夜にはボランティアの竹原さんと天文仲間の方々にお世話になり恒例の天体観測を、2日目は、標高524mの榛名山と、527mの男山の頂上を目指して登山を行いました。学校では、経験できない貴重な体験となり、みんなで協力すること、最後まで粘り強く頑張ることの大切さを実感し、自分や友達のよさを再発見できる活動となりました。



～青空給食～ 縦割りの班活動がスタートしました！

5月11日(水)、3年ぶりに青空給食が実施され、今年度の縦割り班活動がスタートしました。

異年齢の子供が集団遊びや清掃活動に奉仕作業、集会への参加を通して交流する「縦割り班活動」。現在開催中のドッジボール集会をはじめ、これから定期的に行っていく縦割り班活動を通して、お互いを思いやる心や自主的に取り組む意欲などを育てていきたいと思ひます。



～避難訓練～ 1年生も真剣に取り組みました！

避難訓練も5月11日(水)に実施しました。「おかしもち」の約束を再確認し、地震後に火災が発生したという想定で行いました。子どもたちは、速やかに避難行動をとることができましたが、校庭への避難、整列の際に、おしゃべりが目立ったことが課題として残りました。万が一のときに、自分の命を守るためには、真剣な態度で訓練に臨むことが求められます。放送や先生の指示をよく聴くことで、どんな行動をとればよいのか、どこを通過して避難をすればよいのかを適切に判断することができます。自分で自分の命を守るために、本校の今年度の指導の重点としている「聴く」という姿勢を大切にさせたいと思っています。

